闘え！商大　商大スポーツ　SHODAI SPORTS　FREE

日本拳法部 全国制覇

第24回全国大学選抜選手権大会優勝!!

熱いぜ！大商大!!

平成23年6月5日（日）早稲田大学記念会堂で、勝利の女神は優しく微笑んだ。
日本拳法部がこの大会（団体戦）では、初となる全国制覇を達成した瞬間であった。
過去に準優勝が3回・3位が1回と後一歩のところで悔しい思いをし続けてきただけに、
今回の優勝の喜びは格別だったに違いない。



最優秀選手賞に 松岡史晃（経済4年）

一冠！西日本大会制覇！

二冠!! 全国選抜制覇!!

目指すは 三冠!!! 全日本学生選手権制覇!!!

「第15回西日本学生拳法選手権大会」
団体戦　優勝（3年ぶり2度目）
最優秀選手賞　坂口 恭平（経済3年）

「日本拳法 第24回全国大学選抜選手権大会」
団体戦　優勝（初優勝）
最優秀選手賞　松岡 史晃（経済4年）

「第12回西日本学生拳法個人選手権大会」
参段以上の部　優勝　松岡 史晃（経済4年）
3回戦敗退　坂口 恭平（経済3年）
辻本 真也（公営3年）（大体大浪商高）
初段・弐段の部　優勝　西尾 勇輝（経済1年）（大商大堺高）
3回戦敗退　柴田 將貴（経済2年）（松原高）
2回戦敗退　西野 貴士（公営1年）（今宮工科高）
1回戦敗退　柴田 憲四朗（経済2年）（初芝立命館高）
段外の部　準優勝　宮本　龍（経営1年）（阿蘇清峰高）
3回戦敗退　石橋 龍三（経営1年）（阿蘇清峰高）
河津 健太（商1年）（阿蘇清峰高）
1回戦敗退　山田 祥瑚（経営1年）（乙訓高）
女子の部　1回戦敗退　前田 千亜希（公営2年）（伊都高）

快進撃始まる！西日本大会（団体戦）

4月17日（日）に行われた第15回西日本学生拳法選手権大会はトーナメント戦で上位4チームを選出し、その4チームでリーグ戦を行い勝敗数で順位を決定させる大会スタイル。大商大は順当に決勝リーグまで駒を進め、迎えた決勝リーグ1戦目の相手は立命館大学。主将である松岡史晃（経済4年・大阪高）の負傷もあり、まさかの敗戦。

いきなり、崖っぷちに立たされた大商大の窮地を救ったのは、坂口恭平（経済3年・大淀高）であった。2戦目の関西学院大学は優勝候補にも挙げられている強豪校。松岡の代役として大将を務めた坂口は大将戦を勝利し、チームも1勝1敗の五分へ。これで、次の最終戦で勝利すれば優勝確定、負ければ4位という状況となった。

最終戦の相手は、王者関西大学。両校一歩も引かないまま、先ほどの関学戦同様に大将決着までもつれ込んだ。この試合も大将を務めた坂口は「円陣を組んだ時に、首脳陣より「絶対勝てる！」という言葉を聞いて自信につながった。冷静に、かつ集中して大将決戦に臨めた事が良かった」と、2戦連続で大将決着をものにした坂口は胸を張った。



結果3年ぶり2度目の優勝を手にした日本拳法部はこの時、ここ1番でのチームワークや信頼関係など優勝以上に大きな何かを掴んでいたのだろう。

悲願!! 全国選抜（団体戦）制覇!!

第24回全国大学選抜選手権大会でも、その勝負強さが見られた試合があった。この全国大会はトーナメント形式の大会スタイル。全てが1発勝負という状況の中で、最大の山場だったのが、準決勝の中央大学戦。中央大は今年東日本大会で準優勝の実力校。先鋒・次鋒・中堅・副将が終了したところで2−2の同点、西日本大会の再現である。大将決着となった1戦で、大将を務めたのは西日本大会決勝リーグで負傷し、途中より坂口に大将役を託した主将の松岡。松岡は「負ける気がしなかった。仲間がついていてくれたので」と、見事相手をねじ伏せたのである。その試合の松岡の拳には、チームメイトの想いが乗り移っていたようにさえ思えた。この1勝でチームは勢いづき、決勝の早稲田大学戦では3勝1敗1分で悲願の全国制覇を成し遂げたのだ。

目指せ全日本学生選手権（団体戦）制覇!!

松岡は「自分自身にとってもラストイヤー、日本拳法部の歴史に大きな大きな1ページを刻みたい。もっと、もっと結束力を強めて、目指すは11月に行われる全日本選手権制覇です。3冠（西日本・全日本選抜・全日本選手権）目指して頑張ります」と力強く語った。

彼らの挑戦はまだまだ終わらない。

ウエイトリフティング部 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 3位入賞!! 関西選抜は今年度も! 4階級制覇!!



やったぜ!

平成23年5月13日（金）から5月15日（日）に開催された第57回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会において、下原玄大（公営4年・入来商業高・現川薩清修館高）が69kg級で3位入賞。同じく56kg級で丹下雄介（商3年・倉敷商業高）が3位入賞を果たした。

2人の勢いは止まらず、5月29日（日）の第27回関西学生選抜ウエイトリフティング個人選手権大会においても、下原・丹下ともに優勝を果たした。

また、下原はスナッチ種目で123kgの大会新記録を記録。さらに、8部門中4部門を大商大の優勝で飾り、今大会出場選手12名中7名が3位以上に入賞した。

「第57回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」
56kg級　3位　丹下 雄介（商3年）
62kg級　10位　洲崎 秀成（経済3年）（珠洲実業高）
69kg級　3位　下原 玄大（公営4年）
85kg級　8位　下原 卓朗（公営2年）（川薩清修館高）
+105kg級　1位　太田 圭祐（経営4年）（大意大堺高）

「第27回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」
56kg級　優勝　丹下 雄介（商3年）
　4位　前本 開生（経済1年）（鳥羽高）
62kg級　3位　洲崎 秀成（経済3年）
　失格　永井 千尋（経営4年）（土岐商業高）
69kg級　優勝　下原 玄大（公営4年）
77kg級　失格　松永 真典（経営2年）（板野高）
85kg級　優勝　下原 卓朗（公営2年）
　失格　藤本 健太（経2年）（新居浜工業高）
94kg級　2位　須田　真（商4年）（倉敷商業高）
105kg級　3位　久保 健太（公営2年）（椿南高）
　4位　津田 拓輝（公営3年）（紀北工業高）
+105kg級　優勝　太田 圭祐（経営4年）

「第71回全日本ウエイトリフティング選手権大会」
56kg級　8位　丹下 雄介（商3年）
69kg級　8位　下原 玄大（公営4年）





バスケットボール部 ベスト16 まだまだいける!! 熱進!!

平成23年4月16日（土）から5月5日（祝）に開催された第38回関西学生バスケットボール選手権大会において、バスケットボール部はベスト16で幕を閉じた。

敗戦となった4回戦では、昨年リーグ戦2位の関西学院大学と激突。52−64と点数差はつけられたものの、得たものは大きかったに違いない。

続く大会（5月下旬）から5月5日（祝）に開催された第38回関西学生バスケットボール選手権大会において、バスケットボール部はベスト32では終わったが、関西大学との戦いは最後の最後まで一歩も引かなかった。一戦一戦確実に成長を遂げているバスケットボール部。秋に開催されるリーグ戦では上位4チームに入り全日本大学選手権大会の出場権獲得も決して夢ではない。今後のさらなる躍進に期待したい。





柔道部 まだまだいける!! 熱進!!

平成23年5月15日（日）に連続で関西代表の1校としてベイコム総合体育館で行われた第61回関西学生柔道優勝大会において、柔道部は関西大学に1−6で敗れベスト16に終わった。関西大学柔道部は、現在5年覚めても稽古づけ」の日々を送って来ただけに、敗戦に唇を噛みしめた笠松監督は「体力強化に向けて筋力トレーニングを増やしてきただけあり、確実に下半身は強くなってきている。今回の悔しさをバネに、秋の関西個人戦に標準を合わせて稽古に励んでもらいたい」と、各選手の今後の成長に期待を寄せた。

ボクシング部 リーグ戦 無念5位

5月8日（日）から6月12日（日）まで開催されていた第65回関西学生ボクシングリーグ戦は、1勝4敗の5位で終えた。4年ぶりのリーグ戦優勝を目標に挑んだボクシング部であったが、5位という成績に主将の久保博紀（公営4年・紀の川高）は「来年はメンバーが大幅に入れ替わらないので、今回の経験を糧に優勝を取り返して欲しい」と、後輩に想いを託した。



硬式野球部 勝ちきれない6位

昨秋2位、投手の福山博之（平成22年度卒業）は横浜ベイスターズ入団と好成績を残した硬式野球部であったが、平成23年度関西六大学野球春季リーグでは逆転につぐ逆転で勝点を得ることができず、結果6位で終了。

秋季まで巻き返しを図るべく、平成4年秋以来のV奪取を果たしてほしい。

ソフトテニス部 まさかの2部陥落



4月29日（祝）、30日（土）に開催された平成23年度関西学生ソフトテニス春季リーグ戦において、0勝5敗1勝もすることができず1部2部の入替戦に回ることとなった。

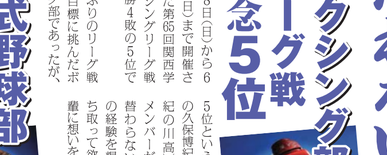
同30日に行われた2部1位の関西大学との入替戦も、踏ん張ることができず敗北し2部陥落となった。

このままで終われるはず、ソフトテニス部！

【個人賞】
ベストナイン（外野手）
栗岡 育司（経済4年）
ベストナイン（捕手）
平古場勇人（新入生・東海大仰星高）
桂 依央利（商2年）
ベストナイン（投手）
平古場勇人（新入生・東海大仰星高）
金子 丈（公営1年）
（大阪学院大学高）

2部リーグ 残燃!! 卓球部 春季リーグ戦 3位!

2部春季リーグ戦、優勝すれば1部へ自動昇格、2位だと1部7位校との入替戦という状況の中で、卓球部は3勝2敗の3位で終了。1部昇格への夢は秋季リーグ戦に持ち越しとなった。吉田監督は「真の実力をつけ、秋季リーグ戦に臨みたい」と、さらなる実力アップに力を注ぐ様子。秋には一回りも二回りもたくましくなった卓球部に出会える事を期待したい。



「2部リーグ 3位」
1勝4敗 vs 天理大
4勝1敗 vs 大阪都大
2勝3敗 vs 龍谷大
4勝1敗 vs 大阪商大
1勝4敗 vs 甲南大
○○●○●

卓球部戦績

サッカー部 3位で前期終了



通年でリーグ戦を戦うサッカー部は、前期リーグ（2部Bブロック）を6勝0敗3分の3位と無敗で折り返した。

1部昇格の資格を得るためには、最低でも2位以上の成績を収めなければならない。後期のリーグ戦を戦うにあたり中野監督は「各選手のストロングポイントを徹底的に伸ばして、後期はさらに強く闘いたい」と、監督の目は前を見据えていた！

バレーボール部 9年ぶり 西日本インカレ 優勝!! 熱勝!!



平成23年6月29日（水）から兵庫県立総合体育館にて開催された、第37回西日本バレーボール大学男子選手権大会。決勝トーナメント2回戦、東海学園大学に3−0とストレート勝ち。つづく3回戦、春季リーグ戦では2戦2敗と相性の悪い関西学院大学との対戦は、3−1で見事リベンジを果たした。その後、準々決勝に駒を進めた大商大は、東海リーグ3位の愛知学院大学と激突。結果は3−1で勝利し、平成18年度以来の準決勝進出を決めた。準決勝の相手は甲南大学。準決勝まで勝ちあがってきた甲南大の勢いに苦戦を強いられるも、3−2で接戦を制し、いざ決勝戦へ。決勝戦の相手は、昨年秋季、今春リーグ戦と負けられない一戦。第1セット25−27、第2セット32−30とデュースにもつれ込む接戦。第3セットで25−22と大商大が優勝に王手をかけるが、さすがは大産大。第4セットを16−25で粘りをみせ、セットカウント2−1のまま最終セットを迎えた。運命の第5セット。結果は15−13、大商大に軍配が上がり、見事、9年ぶり17回目の優勝を果たした。中嶋監督は、「春のリーグ戦では4位という屈辱を味わったが、その悔しさを糧にして、よく頑張った。真面目に取り組んできた結果だ」と選手を褒め称えた。

大商大は、7月9日（土）−10日（日）に愛知県で行われる全日本大学男子東西選抜優勝大会に出場し、東日本・西日本インカレ上位各2チームの計4チームで「日本一」を決めて戦う。



「関西大学バレーボール春季リーグ戦」
4位
ブロック賞　河戸 優希（公営3年）（津工業高）
リベロ賞　瀬川 拓也（経済4年）（大商大高）

「第60回関西複協 全日本男女選抜バレーボール大会」
グループリーグ敗退

「第37回西日本バレーボール大学男子選手権大会」
3位（9年ぶり17回目）
優勝監督賞　中嶋 英尋
最優秀選手賞　瀬川 拓也（経済4年）
セッター賞　三村 一成（公営3年）（箱井寺工科高）
リベロ賞　瀬川 拓也（経済4年）
スパイク賞　河戸 優希（公営3年）
猛打賞　田中 幹平（公営3年）
サーブ賞　中河 諒（経済4年）（洛陽工業高）
ブロック賞　勅当 祐生（公営1年）（高川学園高）
レシーブ賞　田中 幹平（経営4年）

準硬式野球部 6年ぶり 全国切符

平成23年5月20日（金）から滋賀大学彦根キャンパスにて開催された第62回関西地区大学準硬式野球選手権大会。4位決定戦（10−3の7回コールド）に勝利し、6年ぶりに全日本大学準硬式野球選手権大会への出場権を獲得した瞬間である。

阪神六大学春季リーグ戦で2季連続・通算6回目の優勝を果たした準硬式野球部は、5月9日（月）より開催された関西選手権に阪神六大学代表として出場。2回戦の相手は大学選手権2回戦に駒を進めた京都学生代表の京都産業大学。試合は、1回裏に先制点を許すも、その後、3回表に同点に追いつき、延長戦へ。延長10回表に1点を勝ち取りサヨナラ勝ち。全国への出場に王手をかけた。迎えた準決勝の相手は、昨年の関西選手権3位の同志社大学。関西地区のトップレベル校同士の激突にふさわしい試合展開となるが、0−2で惜しくも軍配はお姉大に上がる。その後、3位決定戦に回った準硬式野球部は前述の通り、大山大阪学院大学を撃破し関西地区第3代表として全国切符を手に入れた。

「阪神六大学春季リーグ戦」優勝（7季連続61回目）
個人賞
最優秀選手賞　横田 雅俊（経営3年）（大体大浪商高）
最多勝利賞　清水 大嗣（商3年）（宇治山田商業高）
最優秀防御率賞　清水 大嗣（商3年）
首位打者　橋橋 康生（商3年）（今治北高）
打点王　宮城 佑輔（経営3年）（生光学園高）
ベストナイン（投手）　清水 大嗣（商3年）
ベストナイン（一塁手）　横田 雅俊（経営3年）
ベストナイン（三塁手）　島崎 修平（経営4年）（西条高）
ベストナイン（遊撃手）　宮城 佑輔（経営3年）
ベストナイン（外野手）　橋橋 康生（商3年）

「第63回関西地区大学準硬式野球選手権大会」
3位



今年も強い! 空手道部 男女団体3位! 2階級制覇!

全日本トップクラスの実力をもつ、大商大の空手道部。今年も幸先の良いスタートを切った。まずは、平成23年（2011）に行われた第45回関西学生空手道個人選手権大会では、創部初の快挙となる2階級制覇を成し遂げた。

1人目は−60kg級出場の小島将裕（経済4年・神戸第一高）。昨年大会ベスト8の結果より一気に駆け上がり、見事栄冠を手にした。2人目は商大スポーツ語明してみせた大会であった。

松本卓也（商4年）は、5月29日（日）に開催された第49回西日本大学空手道選手権大会において、男子−67kg級で3位の成績を収めた。

女子団体戦では、松本卓也、小島将裕、3位の成績と貢献を果たせつけた。目標はもちろん全国制覇。

男子主将の松本は「毎年、あと一歩のところで全日本チャンピオンを逃している。今年は自分自身にとっても最後の年、何が何でも勝ちます」と、さらなる飛躍を誓った！



「第45回関西学生空手道個人選手権大会」
男子組手
−60kg級　優勝　小島 将裕（経済4年）
　ベスト8　優勝選手　平野 皓大（公営2年）（東大阪大学柏原高）
−67kg級　優勝　松本 卓也（商4年）
　ベスト8　優勝選手　岡本 小鉄（商1年）（おかやま山陽高）
−75kg級　3位　坂井　聡（経営3年）
　ベスト8　優勝選手　黒川 大和（公営2年）（関新高）
+75kg級　ベスト8　優勝選手　佐藤 延嘉（経営4年）（東大阪大学柏原高）
　ベスト16　岡本 太郎（公営3年）（おかやま山陽高）
女子組手
−50kg級　ベスト16　釜 ひかり（公営2年）（東大阪大学敬愛高）
−55kg級　3位　平島 亜梨沙（公営4年）
　3位　山田 里奈（公営2年）
−61kg級　ベスト16　今村　楓（公営2年）（東大阪大学敬愛高）
+61kg級　ベスト8　優勝選手　林　真弓（公営2年）（大和川高）
　1回戦敗退　安井 美奈実（公営1年）（東大阪大学敬愛高）

「第49回西日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手　3位　優勝選手　松本 卓也（商4年）
女子団体組手　3位　優勝選手　山田 里奈（公営2年）

熱闘!!

その他のクラブ試合結果
（2011年4月1日〜6月30日まで）

■合気道部
「第31回関西学生合気道競技大会」
乱取競技男子団体戦　4位
乱取競技女子団体戦　1回戦敗退
乱取競技男子個人戦　4位　岡本 哲弥（商3年）
　1回戦敗退　不二 優彦（経営4年）
乱取競技女子個人戦　3位　堀　里奈（経営4年）
　1回戦敗退　中嶋 彩華（経営3年）
演武競技男子対抗の部　予選敗退　松村 真生（商2年）
　岩本 尚樹（商3年）
演武競技男子対抗の部　優勝　岡本 哲弥（商3年）
　橋本　大（経営3年）
　堀　里奈（経営4年）
演武競技女子対抗の部　4位　中嶋 彩華（経営3年）

■剣道部
「第59回関西学生剣道選手権大会」
1回戦敗退　橋本 隆貴（経済4年）

■硬式庭球部
「関西学生春季テニストーナメント」予選
ダブルス
2回戦敗退　河野 泰佑（公営3年）・香川 靖幸（商2年）
　城　祐太（商4年）・北本 龍佑（商2年）
　松下 周平（経済3年）・相葉 大樹（経済2年）
　小川 翔馬（商3年）・福原 拓司（経済2年）
シングルス
3回戦敗退　城　祐太（商4年）
2回戦敗退　河野 泰佑（公営3年）
　小川 翔馬（商3年）
　織田 耕司（公営3年）
　宮崎 功太（商2年）

■柔道部
「第43回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会」大阪予選
−66kg級　1回戦敗退　福島 克真（経済1年）
−81kg級　ベスト8　堀　紘弥（公営1年）
−90kg級　2回戦敗退　白井 雄大（公営1年）
「第60回全日本学生柔道優勝大会」
男子団体　1回戦敗退

「関西学生チャレンジテニストーナメント」
ダブルス
2回戦敗退　城　祐太（商4年）・香川 靖幸（商2年）
　小川 翔馬（商3年）・北本 龍佑（商2年）
　松下 周平（経済3年）・相葉 大樹（経済2年）
シングルス
3回戦敗退　津田 義裕（公営4年）
　城　祐太（商4年）

■水上競技部
「第18回関西学生春季短水路記録会」
50m自由形　42位　宇治　徹（公営3年）
　52位　高橋 良樹（公営3年）
　61位　綿谷 直人（商3年）
100m自由形　60位　宇治　徹（公営3年）
　67位　綿谷 直人（商3年）
100m平泳ぎ　46位　北村　遼（経営2年）
200m平泳ぎ　33位　北村　遼（経営2年）
200m個人メドレー　32位　高橋 良樹（公営3年）
「第10回関西学生夏季公認記録会」
50m自由形　77位　窪田 匡貴（経済1年）
100m自由形　44位　宇治　徹（公営3年）
　70位　綿谷 直人（商3年）
200m自由形　36位　宇治　徹（公営3年）
　48位　綿谷 直人（商3年）
100m背泳ぎ　39位　高橋 良樹（公営3年）
　47位　幾本 雄大（経済1年）
　49位　栃井 亮南（商1年）
100m平泳ぎ　13位　明神 佳弘（経営1年）
　50位　北村　遼（経営2年）
　9位　岩井　凌（経済1年）
200m平泳ぎ　25位　明神 佳弘（経営1年）
200mバタフライ　38位　長屋 皇太郎（経済4年）
400m個人メドレー　20位　窪田 匡貴（経済1年）
　23位　北村　遼（経営2年）
　27位　高橋 良樹（公営3年）
　3位　長屋 皇太郎（経済4年）
400mフリーリレー　15位　窪田 匡貴（経済1年）・高橋 良樹（公営3年）・幾本 雄大（経済1年）・長屋 皇太郎（経済4年）
800mフリーリレー　2位　幾本 雄大（経済1年）・栃井 亮南（商1年）・明神 佳弘（経営1年）・長屋 皇太郎（経済4年）

■ソフトテニス部
「関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会」
ベスト64　ラウクレン テムジン（公営4年）
　荒川　篤（経済3年）
「関西学生ソフトテニス選手権大会」
ベスト32　岸田 光平（商4年）
　大島　優（公営3年）
ベスト64　和田 康紀（経済4年）
　柏手 悠一朗（経営4年）
　西村 哲平（公営4年）
　ウチラサイハン バヤスガラント（公営4年）
　ラウクレン テムジン（公営4年）
　ガントルガ エンフトプシン（公営4年）
　澤口 勇雄（経済3年）
　甲斐 勇佑（商3年）
　八代 智 豪（公営2年）
　大和崎 圭介（公営2年）
「西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
3回戦敗退
「西日本大学ソフトテニス選手権大会」
ベスト32　柏手 悠一朗（経営4年）
　大和崎 圭介（公営2年）
ベスト64　岸田 光平（商4年）
　大島　優（公営3年）
　桜田 翔平（公営2年）
　濱内 智規（経済1年）
3回戦敗退　ウチラサイハン バヤスガラント（公営4年）
　ラウクレン テムジン（公営4年）
　ガントルガ エンフトプシン（公営4年）
　大西 啓介（経済3年）
　川島 優貴（公営3年）
　藤川 一貴（経済1年）
　石田 洋平（商1年）
　大塚　侑（公営1年）

■卓球部
「第53回関西学生卓球新人大会」
団体戦
ベスト16　大商大B
ベスト32　大商大A
2回戦敗退　大商大C
　大商大D
　大商大E
シングルス
ベスト32　坂木 幸佑　商1年）
4回戦敗退　打越 史彦　商1年）
「第80回関西学生卓球選手権大会」
ダブルス
3回戦敗退　福岡 弘人（経営4年）・藤原 智史（公営3年）
　森田 彰浩（商2年）・花田 慶範（公営2年）
　門脇 拓哉（経営3年）・岡田 成司（公営2年）
　吉井 慎太（商2年）・打越 史彦（商1年）
2回戦敗退　小村 星太（公営2年）・坂木 幸佑（商1年）
　藤川 昌大（公営2年）・竹谷 大輝（公営1年）
シングルス
5回戦敗退　小村 星太（公営2年）
4回戦敗退　山内 大士（経済4年）
3回戦敗退　福岡 弘人（経済4年）
　柏木 達矢（商4年）
　藤原 智史（公営3年）
　桑田 洋飛（経営2年）
　吉井 慎太（商2年）
　森田 彰浩（商2年）
　花田 慶範（公営2年）
　岡田 成司（公営2年）
　打越 史彦（商1年）
　長曽我部 智貴（商1年）
　坂本 幸佑（商1年）
　片岡 義貴（公営1年）
「第81回全日本大学総合卓球選手権大会」関西予選
予選リーグ敗退

■フィールドホッケー部
「関西学生ホッケー春季リーグ」
3部 4位

■陸上競技部
「第88回関西学生陸上競技対校選手権大会」
2部 400mH　5位*　林　真吾（公営2年）
　三段跳び　15位　山口 修一（商2年）
　砲丸投げ　12位　東中 孝史（経営2年）
　やり投げ　29位　段下 亜紀（公営3年）
　800m　準決勝敗退　熊山 浩規（経済4年）
　走り幅跳び15位　山口 修一（商2年）
*印 異書には第64回の西日本学生陸上競技対校選手権大会出場権獲得

すぽせんNEWS

商大スポーツセンターの旬の情報をお届け!

ジュニアスポーツ育成事業 卓球教室を開催!





大学がもつ社会的責務としてスポーツセンターでは、スポーツという観点から地域貢献を行っております。

今年度より新たにスタートさせた「ジュニアスポーツ育成事業 卓球教室」（5/17～6/14）では東大阪市内に属する中学校の卓球部員16名が参加し、計5回の教室を熱心に受講していました。

講師を務めた本学卓球部吉田監督は「5回と回数が少なく、日々の練習の参考程度にしかならないと思いますが、少しでも東大阪の卓球技術の強化になれば」と感想を述べました。

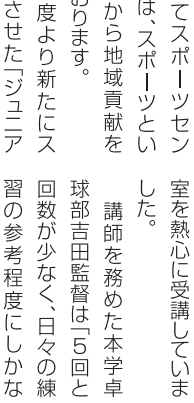
トレーニングルーム レディースタイム

総合体育館2Fトレーニングルームでは、今年度より「レディースタイム」を設けました。

現在は試用期間として、授業期間中のみの毎週月曜日12:00～13:00に実施しています。

「運動したいけど、男子学生の前だと恥ずかしい…」などの思いを抱いている女子学生の皆さん、是非トレーニングルームを利用下さい。

＊トレーニングルーム利用には事前に講習会の受講が必要になります。



ボクシングリング リニューアル

総合体育館竣工当時より一度も改修していなかったボクシングリング（総合体育館1F）がついに全面リニューアル!

ロープは規定外の3本から公式戦対応の4本へ、波打っていたリングマットも全面張替えを行いました。新たなリングで選手達もイキイキと日々練習に取り組んでいます。



クラブピックアップ



Pickup-4 ストリートダンス同好会

初心者でも興味がある方入部可能!!



今年から同好会に昇格したストリートダンス同好会。現在部員は30名。

「サークルではできなかったことが、同好会になったことで活動の幅がさらに増えました。オフアーがあれば、どんなイベントでも積極的に参加したい!」と熱く語ってくれた部長の川添慎平くん（経済3年・福井商業高）。



学内はもちろん、他大学ともコミュニケーションを深め、交流を盛んに行っているとのこと。「初心者でも興味があれば大丈夫です」と常に前向きでパワーあふれる部員のほとんどは初心者。勢いあるストリートダンス同好会から目が離せない。興味がある人は、今からでも入部可能です!

Pickup-3 チアリーディング部

Yeaaaah!



大学唯一の女子部であるチアリーディング部「Glitters（グリッターズ）」。

平成21年に誕生したばかりで、最初は5名しかいなかった部員も現在は10名。

「このまま、2ケタの部員数を維持していきたい。イベントにも積極的に参加したい」と思いを語ってくれた梶浦理奈さん（経営4年・香寺高）。



「部員のほとんどが大学から始めたので、初心者でも大丈夫です」と部員全員が歓迎ムード一色!

チアに入ってみたいと思った人は、まだまだ今からでも入部可能です!

燃え～

Yeah!

大学唯一の女子部!!

部員全員で歓迎します。

すぽせん勝手にMVP 第7回

スポーツセンターが勝手にMVPを進呈するこのコーナー。
今回は、去年復活した応援団をとりあげます!



「大学に合格して、応援団に入ろうと思った。応援団がなかったら、自分がつくろうと思っていた」と話すのは、高校時代に応援団に所属していた八木くん。

大学入学後、迷わず応援団に入った。今までスポーツはあまり長く続かなかったが、応援団は違った。はじめて自分に合ったものを見つけた。

「担当をしていた太鼓は、相手方に聞こえなければ意味がない。また、リズムをとる重要なポジションでもあるので、本番前の練習ではいつも手の皮がボロボロになり、さらに手の皮がめくれ過ぎて、身が見えるほど太鼓を叩き続けました。今も大学に来たら、朝に1回は太鼓を叩きます」。



困っている点は何かと尋ねたら、「団員がいないこと。硬式野球部の応援を行うときは、OBの先輩に手伝っていただいています。最低でも2人は欲しい。男女問わないので、補助をしてくれる人が欲しいですね」。

今後の目標は、

「土台をしっかりつくって、後輩に残したい。

部活のアピールをしていきたい。できないなりにも、応援していきたい。周りの大学と連携していきたい。もし、他大学の応援団が復活したときには、その手伝いをしたい」と応援団に対する熱い思いが伝わってきた。

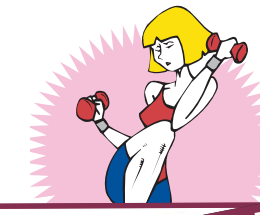
そして、八木くんから最後に一言「応援団に入ったことによって、OBや友だちに出会えて人生が変わった。困ったことがあれば、OB会の方が助けてくださり、一つの家族のような存在。もし、応援団に入っていなければ、現在（いま）を無駄に過ごしていたと思う。バイトや勉強だけじゃつまらない。

部活があるからこそ今の学校生活が楽しい。

ぜひ部活に入って学校生活を満喫するべき。みんなが思っている固定概念を捨てて、一度見に来てほしい」。

去年の活動は、硬式野球部の応援や全国大会出場激励壮行会の応援、OBの挨拶まわりなどを行っていた。今年は、秋季リーグ戦の硬式野球部の応援、近畿大学70周年の乱舞祭に参加する。

歴史ある応援団に少しでも興味を持った人は、ぜひ応援団の部室へ足を運んでみてください!



応援団のおもしろいところは?と聞くと、「一体感があり、縁の下の力持ちのような存在なところ。歴史があり（今年で60代目）、また、礼儀・度胸が身に付くので社会に出たときに役に立ちます」。

今と昔の違いを聞いて意外だったのは、女子も入団できること。「交流している近畿大学の応援団には女子が所属していません。今は男女問わずいてます。

たった一人の応援団

部活!!

大学唯一の女子部!!



編集後記

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

あれからもう、約4ヵ月が経つんですね…月日が経つのは早いです。あの時は、ちょうど仕事をしていて、最初は自分自身が揺れているのかと思っていました。ニュースを見るまでは、東北地方が壊滅的な被害を受けているなど想像もつきませんでした。そして、津波の脅威、自然の恐さを痛感しました。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今年の4月からスポーツセンター事務室に配属になって、約3ヵ月が経ちました。学生と接する部署での仕事は今回が初めてで、まだまだ不慣れな点が多いですが、学生と同じで日々、勉強中です。

この3ヵ月の間で、嬉しいニュースもたくさんありました。日拳は、西日本、全国大会で優勝!バレーは、西日本インカレ優勝!準硬式は、全国大会出場!空手は、関西個人で2階級制覇!と、クラブ生の活躍を新聞などで見ると嬉しくなります。

これからも、スポーツセンターは「商大スポーツ」をどんどん発信していきます!　（川）

闘え!商大 商大スポーツ SHODAI SPORTS

発行　大阪商業大学スポーツセンター
編集　大阪商業大学スポーツセンター
印刷　日本ビジネスアート株式会社

商大スポーツ復活論 第1回

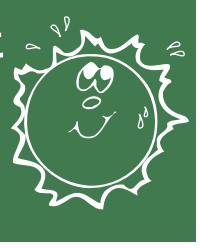
商大スポでは、闘う大商大生に送るメッセージ、【商大スポーツ復活論】を連載しています。
今回も必修です!!（但し出席は取りません）
ぜひクラブ活動の参考にしてください。

必修!!

【今回のテーマ】

熱中症とその予防について

【講師】
アスレティックトレーナー
長瀬 亮昌



みなさん、こんにちは。トレーナーの長瀬です。各クラブ、春シーズンが終わり、炎天下の中、秋のシーズンに向けての練習や、合宿が始まる時期になりました。

今日は、この時期に問題となる熱中症とその予防についてお話します。

まず熱中症とは、暑熱環境によって生じる症状で、病態によって『熱疲労』・『熱痙攣』・『熱射病』などに分けられます。みなさんもニュース等で見聞きしたこともあるかと思いますが、その中でも『熱射病』は死亡に至る事も少なくなく、特に梅雨明けで急に暑くなる7月下旬から8月上旬にかけて多く発生しています。

まず先にあげた3つの病態について簡単に説明します。

症状

熱疲労
脱水によるもので、全身倦怠感、脱力感、めまい、吐き気、頭痛などの症状が起こる。

熱痙攣
大量の発汗があって、水のみ補給した場合に起こる。筋肉が興奮し、手足や腹筋の痙攣や筋肉痛が起きる。

熱射病（重度）
体温調節ができなくなり、意識障害が起こる。死亡率も高い。

前記の様な熱中症の症状を発症させない為にも、以下のように様々な面から予防・配慮をしていく必要があります。

予防1　環境条件を把握して、それに応じた運動や水分補給

暑い時期は日中の練習やトレーニングを避け、早朝や夕方などに練習をする等の時間的考慮、水分を自由にとれる環境づくり等を行う。

発汗によって塩分も失われる為、0.1～0.2%の食塩水や少し薄めたスポーツドリンクが良い。

予防2　暑さには徐々に慣らしていく

急に気温が上がった日は、軽い運動でとどめておく。

予防3　個人の条件を考慮

体調不良者、体力の低い人は特に発症しやすい。その場合、運動を制限する必要もあるが、前日の大量飲酒や、睡眠不足などによる、体調不良をまねかないように、日頃からのセルフコントロールが重要。

予防4　服装

服装は軽装として吸湿性や通気性の良い素材にする。

このように予防法は様々で、チームの環境・特性に合わせて考慮していくべきです。熱中症で死者を出す事はもちろんながら、コンディションを崩して練習を欠席したり、体力を低下させたりする事は、チームにとっても個人のパフォーマンスにとってもマイナスとなります。屋外スポーツだけでなく、高温多湿な体育館などの屋内スポーツでも熱中症は発生します。

みなさん、この夏の過ごし方は、秋のシーズンに好成績を残す為にも、非常に重要です。すぐに始まる秋シーズンに万全のコンディションで挑めるように、『暑い』夏対策をして『熱い』秋シーズンを迎えましょう!!

熱注!!

予防に熱中しよう!

